学校だよりは、保護者や地域の方々への広報誌です。

教育目標【笑顔 夢 感動】

むくの木

掛川市立横須賀小学校　　平成 27 年６月 26 日　第３号

ほめて伸ばして　その場で叱る

校長　松村　敏典

保護者・地域の方々に御声援をいただいた『心を一つに・全力つくして・魂燃やした運動会』から１か月が過ぎようとしています。４月から始まった「つくるステージ」は、横小児童の元気があふれていました。たくさんの笑顔も見ることができました。本気に取り組む姿がありました。欠席をする子もとても少なくて、元気の花がもう 13 こも咲きました。交通事故 0 の記録も続いていて、今週で 150 日を数えます。

15 日のきたえるステージ式では、錦織圭選手を教えたこともある元テニスプレーヤーの松岡修造さんの言葉『100 回叩くと壊れる壁があったとする。でもみんな何回叩けば壊れるかわからないから、苦労して 90 回まできていても途中であきらめてしまう。もう少し続けていれば乗り越えられたのに…』を紹介しました。「きたえるステージ」のキーワードは挑戦と継続。続けることが大切と話し、新あいさつ名人 63 名を表彰しました。４月に入学した１年生にもあいさつ名人が３名。大きな声であいさつや返事ができます。上級生をお手本に、先取りあいさつで自分から大きな声が出せる子も増えてきました。前期末に何人に増えているか楽しみです。

昨年度から始めた『むくの木「ほめちあ」大作戦』を今年度も続けます。この取組により、今以上に子どもや友達のよさや伸びを見つけ、ほめていくことで子どもの自己肯定感を高め、さらに伸びようとする向上心や自信を育みたいと思います。また、自分の行いがみんなのためになっているんだという自己有用感の向上につながることを願います。よい行いを家庭でも地域でもほめていただき、学校にもお知らせください。もちろん、やってはいけないことをした時には、その場で厳しくしつけてください。「きたえるステージ」が、「笑顔・夢・感動」いっぱいのステージになるように、みんなで *cheer up* を続けていきましょう。つくるステージ同様、皆さんの声かけをお願いします。